



データ保証について

本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、当社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。


安全上のご注意

**警告**


この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。

**注意**


この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

**注意**


本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。

**注意**

本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしかねます。必要なデータはバックアップするようにしてください。


**注意**

本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。


**注意**

本製品やパソコン本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。


- 不安定な場所
- 振動のある場所
- 高温 / 多湿な場所
- 強い磁気の発生する場所
- 暖房器具の近く
- 腐食性ガス雰囲気中
- ホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 衝撃のある場所
- 傾斜面
- たばこの煙
- 静電気の影響を受けやすい場所

**注意**


本製品の稼働中に電源コードや、接続ケーブルなどを抜かないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。

**注意**

本製品を移動する時は、AC アダプタから取り外してください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。

**注意**

本製品内部を結露させたまま使わないでください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間を置いて結露がなくなってからご使用ください。

**注意**

本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されたことにはならず、特殊なソフトウェアなどを利用することにより、データを復元、再利用される可能性があります。情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。

本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

ビニール袋や小さな部品は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。誤って口に入れたり、頭からかぶるなど思わぬ事故の恐れがあります。

ケーブル類や電源プラグは、傷付けたり破損しないように注意してください。ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。本製品に水などをこぼさないでください。火災やショート、感電、故障の原因になります。

本製品やパソコン本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

本製品やパソコン本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。弊社では、「カスタマサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

また、弊社 Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

ヤノ販売株式会社 **カスタマサポート**

住所：〒 653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F
Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983
電話による受付時間：月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）
午前 9：30 ～ 12：00 ／ 午後 1：00 ～ 5：00

Web ： www.yano-sl.co.jp
E-mail ： info@yano-sl.co.jp

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303（営業） Fax. 078-646-8982
E-mail: info@yano-sl.co.jp Web: www.yano-sl.co.jp



Trusty RAID EX はじめにお読みください

このたびは、弊社製大容量高速 PCI Express RAID 装置 **Trusty RAID EX** シリーズ（ラックマウントモデル）をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を安心してご使用いただくために、以下の解説に従って正しい接続を行ってください。

構成品 パッケージ内容

- ☐ Trusty RAID EX 本体..... 1 台

☐ ドライブホルダー（スベアドライブ含む）... 9 台

☐ 電源ケーブル..... 2 本

☐ PCI Express 専用接続ケーブル..... 1 本

☐ PCI Express インターフェースボード..... 1 枚

☐ ロックキー..... 2 本

☐ ユーティリティ CD..... 1 枚

☐ ラック取付け用レール..... 2 本

☐ Trusty RAID EX ユーザーズマニュアル..... 1 冊
- ☐ 取付けネジ（M5）..... 2 袋

☐ 取付けネジ（M4）..... 2 袋

☐ 取付けネジ（UNC #10-32）..... 1 袋

☐ Trusty RAID EX・はじめにお読みください..... 1 部

☐ Trusty RAID EX のラック取付け方法..... 1 部

☐ スペックシート..... 1 部

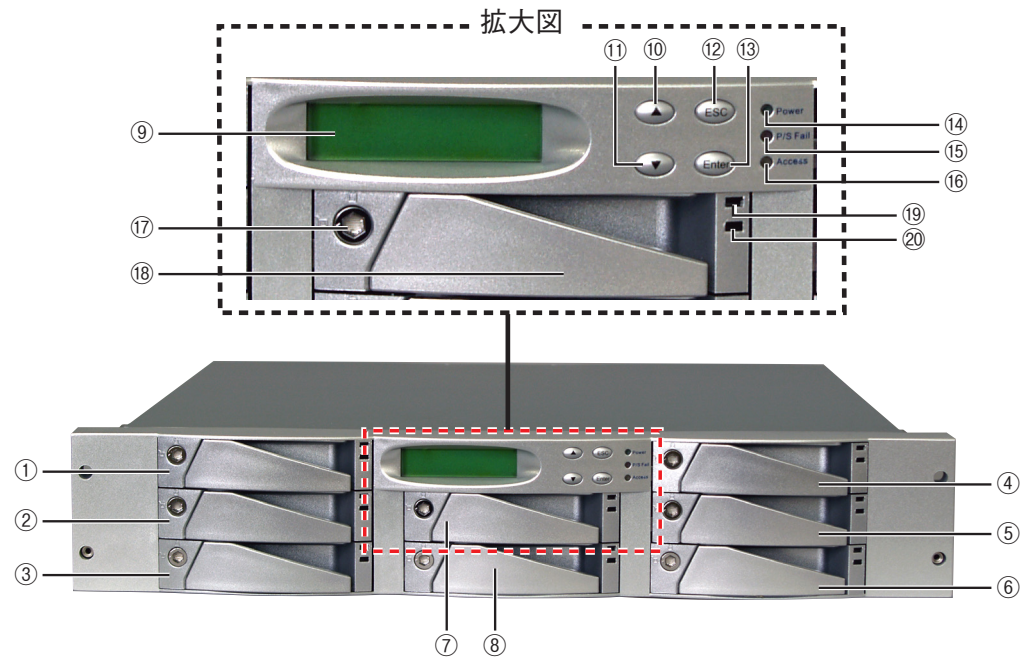
☐ 保証書..... 1 部

☐ ユーザ登録カード..... 1 部

☐ 365 日サポートシール..... 1 部

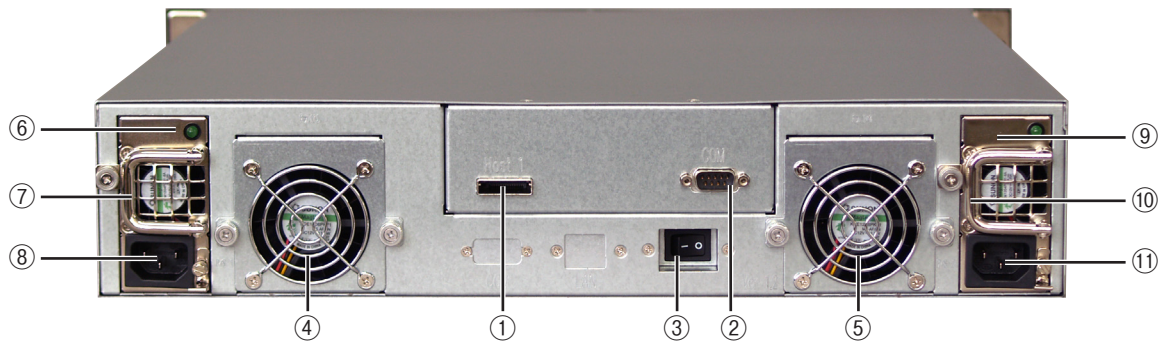
各部の名称とはたらき

● 前面



①～⑧	ドライブホルダー	内部にハードディスクが取り付けられています。正面には通気口がありますので、ふさがないようにしてください。本製品にはハードディスクを8台搭載しています。
⑨	液晶パネル	本製品の状態を表示します。
⑩	▲ ボタン（上向き）	操作パネルで本製品の設定を行う場合は、▲ボタン／▼ボタンで設定項目を選択します。
⑪	▼ ボタン（下向き）	
⑫	ESC ボタン	前のメニューに戻るときにこのボタンを押します。
⑬	Enter ボタン	選択した値を確定するときこのボタンを押します。
⑭	電源ランプ	本製品に電源が投入されると緑色に点灯します。
⑮	電源異常警告ランプ	本製品に異常が発生したときに赤色に点灯します。
⑯	アクセスランプ	本製品にアクセスしているときに橙色に点灯します。
⑰	カギ穴	ドライブホルダーの施錠／解錠を行います。
⑱	レバー	ドライブホルダーを取り出すときに手前に引きます。
⑲	ハードディスクステータスランプ（緑 / 赤）	ハードディスクの動作状況を示します。 ・緑色：ハードディスクに通電中 ・赤色：ハードディスクが入っていません。
⑳	ハードディスクアクセスランプ（橙）	ハードディスクにアクセスしたときに橙色に点滅します。

● 背面



①	PCI Express ポート	本製品に付属の PCI Express 専用接続ケーブルを接続します。
②	RS-232 ポート	弊社が使用するメンテナンス用のポートです。
③	電源スイッチ	本製品の電源を ON / OFF します。[—] 側に倒すと ON に、[○] 側に倒すと OFF になります。
④	背面ファン 1	冷却用のファンが取り付けられています。この部分をふさがないように注意してください。
⑤	背面ファン 2	冷却用のファンが取り付けられています。この部分をふさがないように注意してください。
⑥	電源ユニット 1	電力を供給します。通電中は緑色に点灯します。
⑦	電源ユニットハンドル 1	電源ユニット 1 を着脱する場合、このハンドルを持って着脱します。
⑧	電源コネクタ 1	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。
⑨	電源ユニット 2	電力を供給します。通電中は緑色に点灯します。
⑩	電源ユニットハンドル 2	電源ユニット 2 を着脱する場合、このハンドルを持って着脱します。
⑪	電源コネクタ 2	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。

※電源ケーブルは必ず2本とも接続してください。

Trusty RAID EX 本体をラックに設置する

Trusty RAID EX 本体を梱包箱より取り出し、まず外観に破損などが無い確認してください。また、破損が確認された場合は、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

Trusty RAID EX 本体をラックに取り付けます。
ラックの取り付けについては、付属の「Trusty RAID EX のラック取り付け方法」をご覧ください。

ドライブホルダーを装着する

本製品では、精密機械であるハードディスク・ドライブの損傷の可能性を低減するために、輸送時の衝撃等を考慮して別梱包にしております。ご使用になる際は、**必ず電源を切った状態で**、ハードディスク・ドライブの装着されたドライブホルダーを取付けてください。

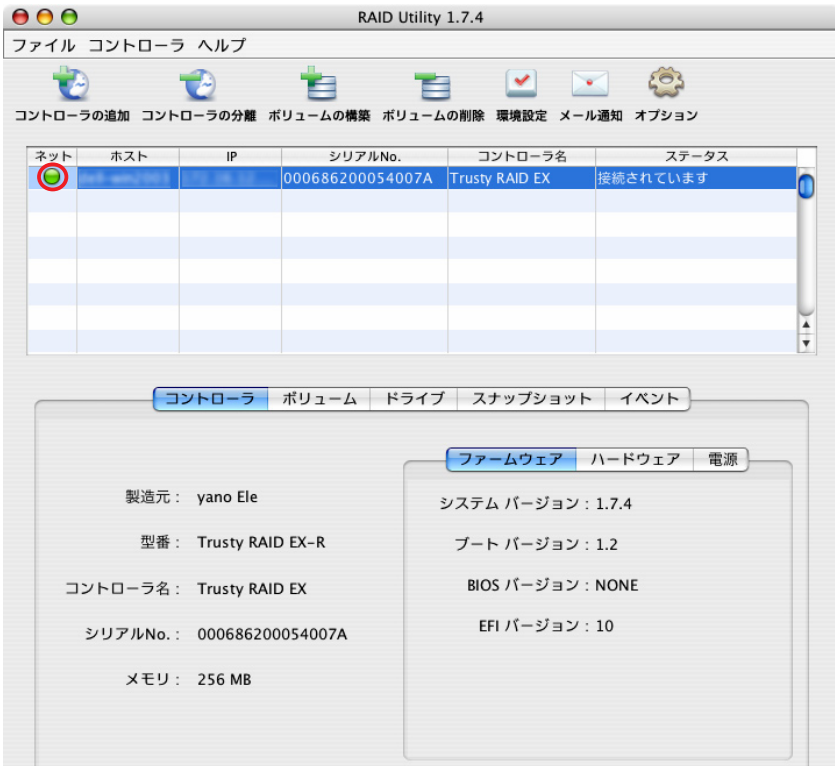
ドライブホルダーを梱包箱より取り出し、まず外観に破損などが無い確認してください。また、破損が確認された場合は、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

ドライブホルダーの取り付けについては、付属の「Trusty RAID EX ユーザーズマニュアル」の P20「ラックマウントモデルの設置」をご覧ください。

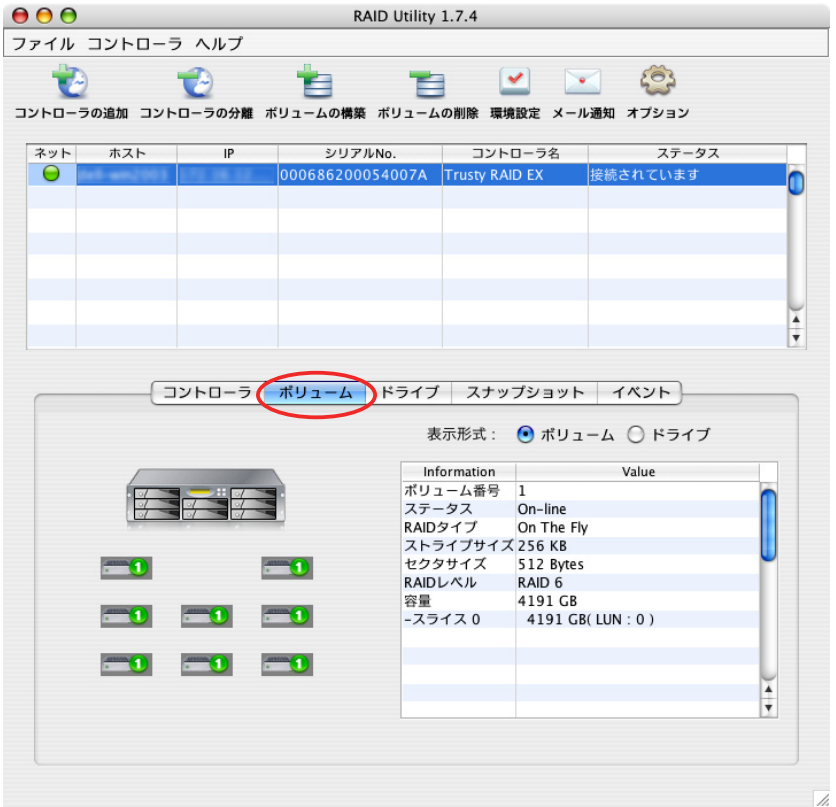
● ドライブホルダーを本体に装着する際の注意

- ・取扱いの際は、衝撃を避けて移動や取り付けをしてください。
- ・ドライブホルダーを重ねたり、ハードディスク本体の上面を押さえる等はしないでください。
- ・ドライブホルダーを本体に装着したら、必ずキーで施錠してください。施錠していないと正しく認識できません。

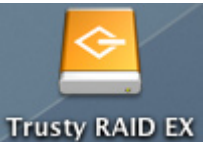
4. コントローラが正常に追加されると、コントローラー一覧に表示され、[ネット] に緑色のランプが付きます。



5. [ボリューム] をクリックします。
ボリュームの状態が正常に表示されていることを確認します。



以上でコントローラの設定は完了です。
Macintosh の場合、デスクトップ画面にアイコンが表示されます。

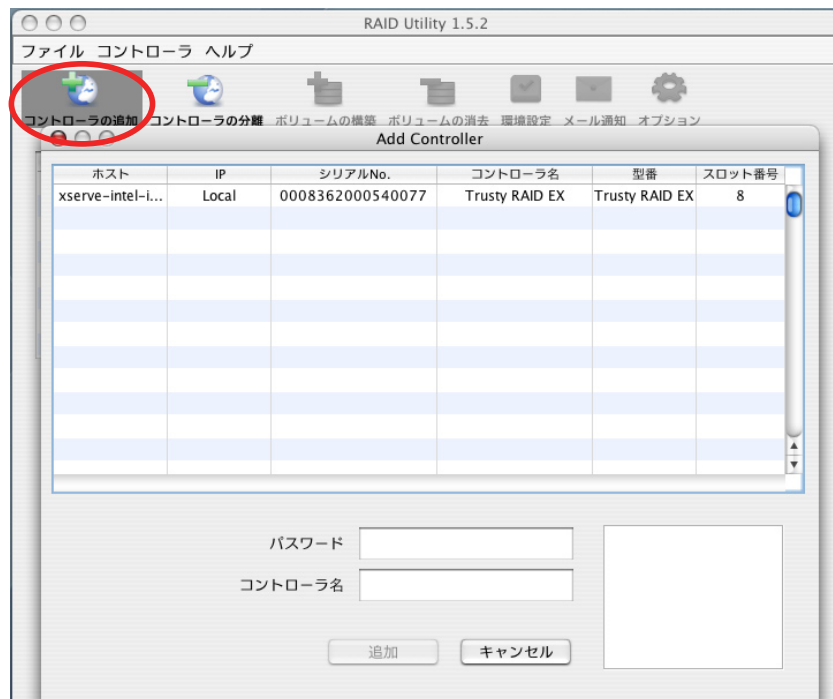


1. 「RAID Utility」を起動します。(Windows の場合は「RAID Utility Client」を起動します。)

※ Windows Vista でご使用の場合は先に「RAID Utility Server」を起動する必要があります。

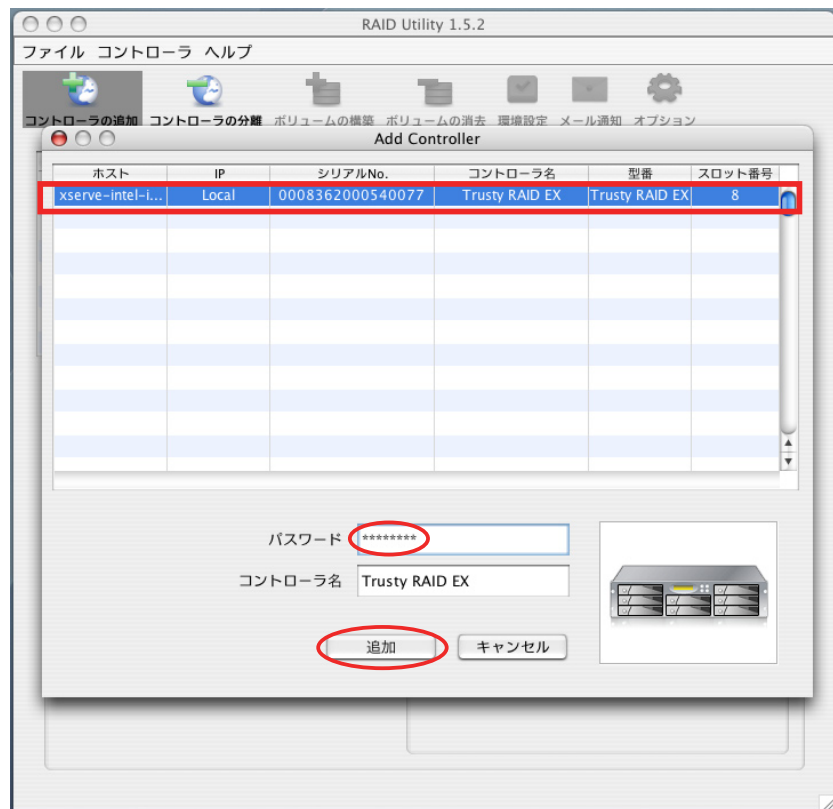
2. 「コントローラの追加」 ボタンをクリックします。

ネットワークに接続されている利用可能なコントローラのリストが表示されます。



3. 管理するコントローラを選択し、パスワードを入力します。入力できたら【追加】をクリックします。

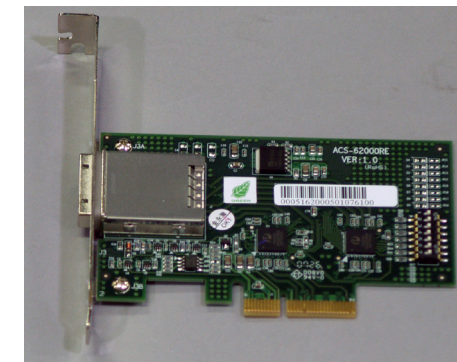
パスワードの初期設定は「00000000」（数字の0が8個）です。



操作手順

1. 本製品を接続するコンピュータに、PCI Express インターフェースボードを取り付けます。

取り付け方法についてはお使いのコンピュータのマニュアルをご覧ください。



2. 本製品に必要なドライバと、RAID ソフト「RAID Utility」をインストールします。 本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコンピュータ本体の CD-ROM ドライブにセットします。

Macintosh の場合

「For_Mac」→「Driver」の中の
「yano_IP_MAC_X.X.X.mpkg」をクリックします。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。



「yano Software のインストール」の画面が表示されます。
【続ける】をクリックします。

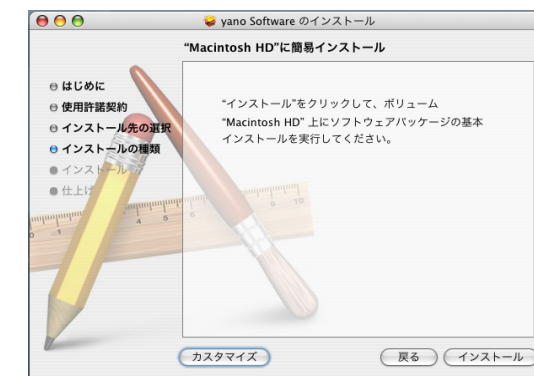
使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、【続ける】をクリックします。

確認の画面が表示されますので、【同意します】をクリックします。

インストール先のボリュームを選択し、【続ける】をクリックします。

インストールを実行します。【インストール】をクリックします。
カスタムインストールを行うときは、カスタマイズをクリックし、インストールしたい項目を選択します。

インストールが終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
【再起動】をクリックし、ソフトウェアのインストールを完了します。



※インストールに失敗した場合は、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

Windows の場合

Java ソフトウェアをインストールします。

<http://www.java.com/ja/> から最新の java ソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

※「RAID Utility」は、Java Version.1.5.09 以上が動作する環境が必要です。

本製品に添付されている「ユーティリティ CD」をコンピュータ本体の CD-ROM ドライブにセットします。

「For_Win」→「Driver」→の中から、お使いのコンピュータの CPU に合わせて選択します。

32 ビットの場合「x32」、64 ビットの場合「x64」を選択します。

お使いのシステム環境に合わせて「Vista」または「XP,2003」をクリックします。

ドライバをインストールします。「Trusty_win_X.X.X」をクリックし、インストーラを開始します。

※ X.X.X にはソフトウェアのバージョンが入ります。

インストーラの画面が表示されます。【次へ＞】をクリックします。

使用許諾契約の画面が表示されます。内容を確認のうえ、【使用許諾契約の条項に同意します】を選択し、【次へ＞】をクリックします。

インストールの準備ができた画面が表示されますので、【インストール】をクリックします。

※ Windows Vista などでお使いの場合、『ユーザアカウント制御』が表示される場合があります。「許可」を選択し、インストールを続けてください。

Attach your Device という画面が表示されます。

【OK】をクリックします。

インストールが正常に完了した画面が表示されます。

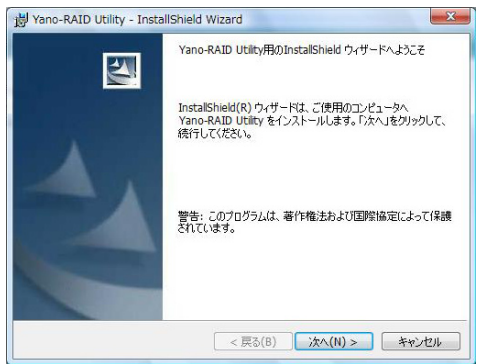
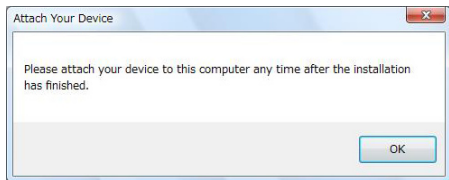
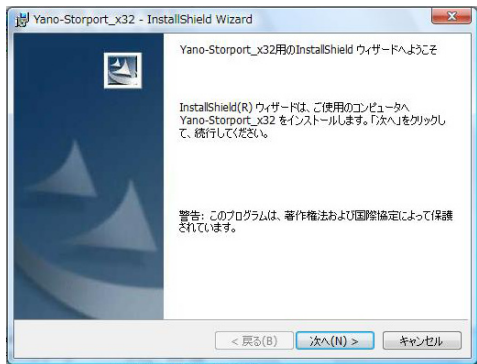
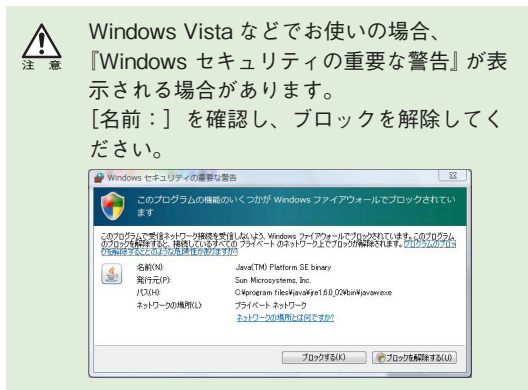
【完了】をクリックします。

RAID ソフト『RAID Utility』をインストールします。

「ユーティリティ CD」の「For_Win」→「Driver」の中から「Trusty RAID EX_IP_Win_X.X.X」をクリックし、インストーラを開始します。

Yano-RAID Utility のインストーラの画面が表示されます。

【次へ＞】をクリックします。



ここでは、Windows Vista を例に表示しています。それぞれの OS によって画面表示が異なります。

使用許諾契約の画面が表示されます。

内容を確認のうえ、【使用許諾契約の条項に同意します】を選択し、【次へ＞】をクリックします。

インストール形式の選択画面が表示されます。【すべて (C)】を選択し、【次へ＞】をクリックします。

インストールの準備ができた画面が表示されますので、【インストール】をクリックします。

※ Windows Vista などでお使いの場合、『ユーザアカウント制御』が表示される場合があります。「許可」を選択し、インストールを続けてください。

インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

3. コンピュータを一旦終了します。

4. 本製品に電源ケーブルを接続します。(電源ケーブルは必ず二本とも接続してください)

5. PCI Express 専用接続ケーブルを本製品とコンピュータに接続します。

6. 本製品の電源を ON にし、コンピュータを起動します。

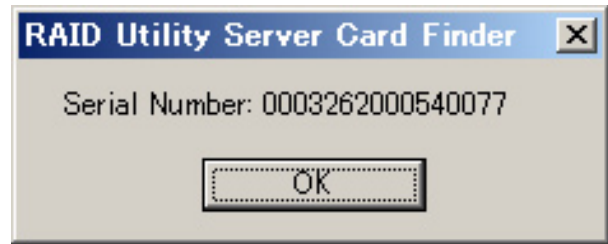
本製品を設定する

Macintosh で本製品を設定する

「RAID Utility Server」は起動時から自動的に常駐プログラムとして稼働します。

Windows で本製品を設定する

Windows でご使用の場合、ログオン後に「RAID Utility Server」が利用可能な RAID カードを探します。RAID カードが正常に認識されると下図のようなメッセージを表示します。【OK】をクリックします。



※ RAID カードが検出できない場合、「Find No Raid Card!!!」というメッセージが表示されます。本製品とコンピュータを PCI Express 専用接続ケーブルで接続している場合は、コンピュータの電源を切ってから、本製品の電源を切って、最初から作業をやり直してください。

※ PCI Express インターフェイスボードが正常に取り付けられているかどうか、PCI Express インターフェイスボードのドライバが正常にインストールされているかどうか確認してください。

※ ネットワークを経由してリモートで接続している場合は、Windows のタスクトレイから「RAID Utility Server」を終了させて、「RAID Utility Client」を使用してください。

「RAID Utility Server」アイコンが Windows のタスクトレイに追加されます。

